



ネット社会における 青少年の健全な育成を続けていく。

(NPO法人ネットポリス鹿児島 代表:戸高成人さん)

活動のきっかけ・想い

インターネットで起きている青少年の問題に警鐘を鳴らす

スマホやゲーム機等インターネットに接続できる機器が普及し、インターネット利用の低年齢化が進む中、子どもたちが被害者となるネットいじめやSNSでの誹謗中傷も年々深刻化しています。一方、学校現場ではGIGAスクール構想と呼ばれる、1人1台の学習用タブレット端末とネットワーク環境の整備が進められており、ネットが子どもたちにとっても当たり前の存在となる環境となりつつあります。

2020年10月中旬、鹿児島市立谷山小学校の学校保健委員会において、保護者向けに「健康被害とメディアの危険な関係」と題し講演をされたNPO法人ネットポリス鹿児島代表の戸高成人さんに話を聞きました。戸高さんは2006年頃から独自にサイバー犯罪やネットいじめの調査研究を続けており、少年補導員もされています。

「学校裏サイトができたのは2002年頃からです。最近では街頭を補導していても、子供たちは繁華街にはいませんよね。しかし少年犯罪は減ってはいません。インターネットの中で青少年の問題が起きています。私は2010年に少年補導員や青少年育成指導者などのメンバーを取りまとめた任意団体を作りました。サイバー犯罪周知のための講演を行い、ネットいじめ対策アドバイザーとしても活動を広げてきました。2013年には鹿児島県警からの要望もあり、NPO法人ネットポリス鹿児島を設立しました。カウンセラー、臨床心理士、看護師、保健師などが在籍し、それぞれの専門分野を活かしながらチームで問題に取り組んでいます。また、SNSを利用した相談業務やカウンセリングも設立当初から行っています。」

主な活動

困っている若者を支援するために

「近年はスマートフォンやタブレット端末の普及もあり、私たちの暮らしは大きく変わりました。スマートフォンの利用者は年々低年齢化しています。インターネットは必要な情報をいつでも引き出せ、人と簡単に繋がることのできる反面、依存症や昼夜逆転の生活などの問題が起きているのが現状です。児童や若者のネットいじめ、不登校・ひきこもりに至る原因にもなっています。そこで、私共では2017年から安心ネットサポーター養成講座【ちょっとネットに詳しい大人になって見ませんか?】も始めています。子供がインターネットの問題で困った時、アドバイスやサポートのできる大人が少しでも増えることで、インターネットにまつわる問題を未然に防ぐことができればと思っています。さらに、2018年からはインターネット依存症の若者を対象にした訪問ケア(生活指導支援)も行っています。相談者は1人1人、依存症に至るまでのプロセスが違うので、ケースバイケースで行っています。これまで約150件の訪問ケアを行いました。その中で健康回復された方も多くいます。でも、回復に至るには周囲のサポートが必要不可欠なんですよね。だからこそ大人にもしっかりとインターネットの知識が必要なんです。」



ひとりで悩まないで！
話せばきっと何かが変わる

LINEで相談できるよ！ID検索「meyasubako」
もしくは、下記QRコードより追加して下さい。

✉ meyasubako@npk.from.tv
メールでの相談も受け付けています。〔受信許可設定〕を確認してね！

一般社団法人 全国 SNS カウンセリング協議会 会員

鹿児島県自殺予防情報センター ☎099-228-9558 鹿児島県精神保健福祉センター ☎099-218-4755
事業運営団体 NPO 法人 ネットポリス鹿児島 ☎070-5418-4239

課題と今後の展望

加害者を生まないために、啓発を続けていく

「インターネットにまつわる問題への対応は、諸外国に比べ日本はとても遅れています。特にアメリカは国家予算が組まれており、親に対する啓発を進めています。まだ自己管理もできない子供に、スマートフォンやタブレットを与えても、子供は通信費も払えませんし、問題が起きたときに自分で解決することもできません。インターネットのメリット・デメリットをしっかりと意識し、把握しておくことが不可欠です。デメリットというと「怖いことに巻き込まれる」など、被害者を意識する方が多いですが、そうではありません。被害者はなぜ被害者になったのでしょうか。加害者がいるからです。結局、ネットいじめは加害者の健康被害が原因であると考えています。インターネットの不適切な利用が続くと、脳の機能が低下してしまうのです。SNSに書き込んだ内容を見た相手がどう感じるのか、想像ができなくなっているのです。ネットいじめ問題は加害者を生まないことが大事なんです。そのために児童・生徒対象の情報モラル教室も行っています。2019年度は各小中学校・高校・大学・専門学校の児童生徒約10898名に情報モラル教室を開催しました。

以前、「SNSで住所を教えたしまったが大丈夫か」という子供から相談がありました。番地まで教えたわけじゃないと言うので、「あなたの居場所を特定できないから大丈夫だよ」と答えたのですが、やはり知識がないと不安になるわけですね。自分で加害者を生んでしまうような情報提供をしまっている。しかしたとえ特定できる住所を教えたとしても、誰もが加害者になるわけではありません。しっかりと知識を持っていれば、加害者は生まれません。加害者が生まれなければ、被害者も生まれないんです。「怖いことに巻き込まれないように」と、いつまでも被害者教育をしている間は、先に進むことはできないんです。そのためにも情報モラル教育を広げていくことが重要なんです。」

NPO法人 ネットポリス鹿児島 団体概要

代表者：戸高成人

設立年：2013年

会員数：11名



連絡先：070-5418-4239

mail：info@npk.from.tv

ホームページ：http://npk.sblo.jp

